

総社市内での 12～15 歳への新型コロナワクチン接種の方針

方針・視点	対応・対策
【1】まずは、こどもに関わる大人・保護者のワクチン接種が重要	・ <u>総社市内の小・中学校の教員の希望者への早期接種を開始</u> (6月中に一部実施。7月中旬の大規模接種でも優先枠)
【2】基礎疾患のある小児には希望者に早期に接種して重症化防止	・ 12～15 歳全体に対して接種券を発行へ ・ かかりつけ医とのマッチングを支援
【3】親子でワクチンについてよく理解する	・ <u>小・中学校で親子向け資料の提供（7月1日～開始）</u>
【4】接種を受ける人、受けない人どちらも尊重	・ 差別防止を徹底 ・ ワクチン接種や副反応による欠席に配慮 ・ 接種の有無が学校行事などへの参加要件にはしない
【5】健康な児童・生徒への接種体制の確保	・ 希望時期に、こどもが接種できる体制を確保 ■ <u>学校接種ではなく、市内の医療機関での個別接種と市の集団接種会場にて対応（小・中学生は保護者同伴）</u> ■ ファイザー供給が限定的な中、市が予約・マッチングを支援 ■ 市の集団接種での工夫 ① <u>市民会館の集団接種（7月中旬～8月末にモデルナ使用）とは別に、18 歳未満向けの集団接種を保健センターで並行して開催（8月上旬に1回目接種）</u> ② <u>10 月以降の希望も多いため、今後二ーズが残る場合には 10～11 月にも、18 歳未満向けの集団接種を検討</u>